

大衆収奪と大合理化の 国鉄運賃値上げ反対！

日刊 動労千葉

79.5.20

No.124

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五八・九・(公衆電話)227二〇七

動労「本部」の闘争放棄を許すな！

国鉄運賃は、五月二〇日以降普通運賃の一二%値上げをはじめ、平均八・八%の大巾値上げが実施されようとしている。今回の値上げは、昨年七月以降四回目の大巾値上げという全くメチャクチャな値上げ攻撃である。動労「本部」は、今回の大巾運賃値上げ攻撃に対し、反対運動を何んら組織しようともせず、全く沈黙していたのである。われわれは、政府・国鉄当局の大巾運賃値上げ攻撃を怒りを込めて弾劾するとともに、動労「本部」暴力集団の動労千葉破壊攻撃を粉砕し一四〇〇組合員の強固な団結をもって、動労のセクト的引き廻しを阻止し、八〇年代動労運動の戦闘的發展をかちとろうではないか。

徹底した大衆収奪 大巾運賃値上げ！

国鉄当局は五月八日の運輸審議会の答申と一日の閣議了承にもとづき、五月二〇日以降、普通運賃一二%、通勤定期一五・七%、通学定期二七・九%、旅客平均で八・八%の大巾運賃値上げを実施しようとしている。

今回の大巾運賃値上げは、昨年七月の普通運賃一九・二%、貨物五%、一〇月の料金一二・二%、今年一月の通学定期五・五%とあいつぐ値上げに引き続き、一年間で四回目という全くメチャクチャな攻撃である。

さらに、今回の運賃値上げの特徴は、長・中距離の値上げ率を低く抑え、定期・近距離を重点に値上げするという徹底した大衆収奪を行ない、独占資本本位の輸送体制と運賃体系をますます強めている。

大巾運賃値上げと貨物合理化 攻撃に屈服する動労「本部」！

政府・国鉄当局は、国鉄赤字を理由にそのツケを全て国民大衆に運賃値上げとして押しつけ、国鉄内部にあっては、労使安定 労働組合丸がかけ攻撃を強めつつ、55・10を突破口に当面、55・10を目標に一〇万人の首切り合理化を柱とするさまざまな合理化攻撃を開始しようとしている。

55・10を見据えた政府・国鉄当局は、夜行列車の廃止、汐留・梅田操車場の身売り、と矢つぎ早く合理化案を打ち出している。

こうした状況の中で、動労「本部」は、昨年の第三四回津山大会において多くの反対を暴力をもって圧殺し、「貨物安定宣言」を強行し、国鉄当局の経営改善 合理化政策に全面的協力を確約したのである。そして、あろうことか「55・10」に当っては、当局に対し、動労千葉への弾圧と引きかえに「第二の貨物安定宣言」をもって当局に協力することさえ画策しているのである。これが労働組合のやることか！

今回の大巾運賃値上げ攻撃に対しても、全くの沈黙を守り、何んら反対運動を組織しようとなない。これが「本部」暴力集団の本質なのである。

国鉄再建 大合理化攻撃と 対決する労働運動を！

われわれは政府・国鉄当局の55・10を見据えた大合理化攻撃に対し、「貨物安定宣言」をもってする動労「本部」の闘争放棄と屈服の路線に対し怒りを込めて弾劾する。そして、われわれは、闘う動労千葉への動労「本部」暴力集団による組織破壊攻撃を断固として粉砕し、国鉄再建 大合理化攻撃と対決する労働運動の構築にむけて、一四〇〇組合員が一層強固に団結を固め、闘い抜く決意である。

「値上げ」と共に「抜本的大合理化」を報ずる各紙の見出し

20日から
値上げ
国鉄

夜行列車廃止
貨物の合理化
留置場の縮小

国鉄抜本的再建へ